

# 熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第28報] 令和2年(2020年)10月7日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

本市では、先週(9/29~10/5)、市内では過去最大規模となるクラスターが発生するなど、新規感染者43名、うちリンク無し感染者5名が確認された。リスクレベル判断基準に基づき、レベルを2つ引き上げ「レベル4特別警報」とする。

レベル4特別警報ではあるものの、感染者の大半は接待を伴う飲食店でのクラスター関連である。また、重症者も発生しておらず、軽症者・無症状者が大半を占めていることから、医療提供体制がただちに逼迫する状況ではない。

以上のことから、現状、ただちに市民の皆様へ行動自粛をお願いする状況ではないものの、飲食店への感染防止対策強化や積極的疫学調査の徹底により、これ以上の感染拡大防止を図る必要があることから、以下の要請・対策に取り組むこととする。

## 【要請】

- ・新しい生活様式の実践
- ・高齢者等、重症化リスクの高い市民については、各自での感染防止対策の再徹底
- ・接触確認アプリ「COCOA」の導入促進
- ・ご家族に感染の疑いがある人がいる場合、家庭内での感染防止対策(別紙参照)の徹底
- ・感染防止対策が徹底されていない飲食店等での会食を避ける

## 【対策】

- ・飲食店等への感染拡大防止対策支援
- ・中心市街地の飲食店従業員への緊急検査(接待を伴う店舗への積極的な受検勧奨)
- ・県市で連携した感染防止対策の実施

前回(9/30発表)		今回(10/7発表)	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル2 警戒	縮小	レベル4 特別警報	拡大

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「平常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

## 【熊本市のリスクレベルと判断基準】

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は、感染状況の傾向(拡大・縮小)を踏まえ、総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密のいずれかに該当する催事の自粛 ・不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・相談窓口の周知		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・新しい生活様式の広報・実践		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※3つの密とは、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)。

熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント  
(10月6日現在)

- 熊本県内では、先週(9/29～10/5)、新規感染者は55例(うち感染源が特定できないリンク無し感染者7例)が確認された。
- 熊本市内の飲食店においてクラスターが発生するなど、県市ともに、再び感染拡大傾向に転じていると言える。
- リスクレベルについては、判断基準に基づき、県は一段階引き上げ「レベル3警報」、熊本市は二段階引き上げ「レベル4特別警報」とすることが妥当である。
- 熊本市内の感染者については、その大半が接待を伴う飲食店でのクラスター関連であり、その他の感染者についてもある程度範囲が限定される事例が多いことから、これまで市が実施してきた中心市街地の飲食店への緊急PCR検査について、接客を伴う店舗を対象に積極的な受検勧奨を行うとともに、積極的疫学調査等を徹底することで、これ以上の感染拡大を防止する必要がある。
- 先々週まで県市ともに減少傾向が続いていたことから、病床稼働率や重症者数についてはまだ低水準であり、医療提供体制がすぐに逼迫する状況ではなく、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の示した指標では、現時点では「前週との比較」の指標以外、すべてステージ2の状況にある。
- ただちに県民市民への行動自粛を促す状況ではないものの、このまま感染拡大が続けば、その他の指標の悪化にもつながるため、クラスターの抑え込みを徹底しつつ、経過を観察していく必要がある。
- 県民・市民及び事業者の皆様は、県内の感染動向を注視しながら、引き続き「3つの密」の回避をはじめ、「新しい生活様式」の実践に取り組んでいただきたい。

## 熊本市における感染者発生状況（9/29～10/5）

	公表日	感染者概要	備考
259	9月29日	10歳代 女性 高校生	
260	9月30日	10歳代 女性 高校生	
261	10月1日	20歳代 女性 自衛官	
262	10月1日	20歳代 女性 自衛官	
263	10月1日	10歳代 男性 高校生	リンク無し
264	10月2日	30歳代 女性 無職	リンク無し
265	10月2日	20歳代 女性 自衛官	
266	10月3日	30歳代 男性 会社員	リンク無し
267	10月3日	20歳代 男性 飲食店従業員	リンク無し
268	10月3日	20歳代 女性 飲食店従業員	
269	10月3日	20歳代 女性 飲食店従業員	
270	10月3日	20歳代 男性 大学生	
271	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
272	10月4日	30歳代 男性 会社員	
273	10月4日	60歳代 女性 飲食店従業員	
274	10月4日	30歳代 女性 飲食店従業員	
275	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
276	10月4日	30歳代 男性 飲食店従業員	
277	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
278	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
279	10月4日	30歳代 女性 飲食店従業員	
280	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
281	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
282	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
283	10月4日	30歳代 男性 飲食店従業員	
284	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
285	10月4日	20歳代 女性 飲食店従業員	
286	10月5日	20歳代 女性 飲食店従業員	
287	10月5日	20歳代 男性 会社員	
288	10月5日	20歳代 男性 会社員	
289	10月5日	20歳代 女性 飲食店従業員	
290	10月5日	20歳代 女性 飲食店従業員	
291	10月5日	20歳代 男性 大学生	
292	10月5日	50歳代 女性 無職	
293	10月5日	50歳代 男性 会社員	リンク無し
294	10月5日	20歳代 女性 飲食店従業員	
295	10月5日	20歳代 男性 会社員	
296	10月5日	10歳代 男性 学生	
297	10月5日	20歳代 男性 飲食店従業員	
298	10月5日	20歳代 女性 非公表	
299	10月5日	30歳代 女性 無職	
300	10月5日	30歳代 男性 会社員	
301	10月5日	20歳代 男性 自営業	



# ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

## 部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
  - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
  - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**  
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

## 感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

## マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- ◆ マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。  
(アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。

※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

## こまめに手を洗いましょう

- ◆ こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

## 換気をしましょう

- ◆ 定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

## 手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ 共用部分（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。

- ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
- ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。

- ◆ トイレや洗面所は、通常の家計用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。

- ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
- ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。

- ◆ 洗浄前のものを共用しないようにしてください。

- ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

## 汚れたりネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ 体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。

- ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

## ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ 鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。